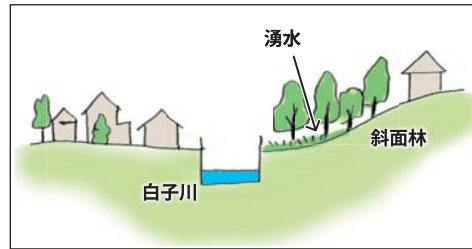


Bコース紹介

白子川の 崖線と自然

白子川は、大泉井頭公園（東大泉7丁目）内に起点をもち、新河岸に合流する全長 10km の一級河川です。川沿いには、今でも湧水が湧き出ている場所がいくつもあり、豊かな自然環境を形成しています。また、白子川の斜面地には樹林がところどころに残り、連続するみどりが特徴ある景観を生み出しています。



地形のイメージ図

清水山の森 (旧 清水山憩いの森)

白子川流域にある斜面林。斜面に湧き出た水が、林の中を流れて白子川に注ぎこんでいます。カタクリが自生し、3月に見ごろをむかえます。



L51 清水山憩いの森の落葉



G167 清水山憩いの森のカタクリ

稲荷山憩いの森

稲荷山と呼ばれた山のふもとに湧水の池があり、水量が豊富で「東京名湧水57選」にも選ばれています。かつては、地域の水田灌漑の補助水としても利用されたそうです。



L50 稲荷山憩いの森入口の美しい湧水池

田柄用水と 屋敷森のある 風景

土支田・大泉町では、屋敷森や農地など郷土が感じられる風景が、今でも多く見られます。明治4年に灌漑（かんがい）を目的に開さくした田柄用水は、現在は暗渠（あんきょ・ふたがしてある歩行路）になっていて、上を歩くことができます。



L112 広々と見渡せる土支田体験農園
田柄用水跡近くにある農地です。



田柄用水跡（豊溪小学校南側）



土支田の森公園
かつて屋敷森だったところが、今は公園になっています。



都営地下鉄 大江戸線の延伸と まちづくり

大江戸線の光が丘駅から大泉町・大泉学園町へ延伸する鉄道ネットワークが、国や都から整備に向けた明確な位置付けを得て計画されています。

都市計画道路補助 230 号線は、延伸区間の導入空間となる所です。土支田二丁目付近は、練馬区施行の土地区画整理事業により整備が行われ、笹目通りから土支田通り区間は平成 25 年 11 月までに交通解放されました。無秩序な市街化を防ぎ、魅力ある街並みへ規制、誘導していくために、沿線地域のまちづくりが進められています。



大江戸線延伸予定図(練馬区資料より作成)